

パワフルAOMORI！創造塾 講座第3回

「上手に解決！活動資金講座」

平成27年7月25日(土) 青森県総合社会教育センター 参加者25名

元気な青森を創造する人財育成事業「パワフルAOMORI！創造塾」講座第3回は、「上手に解決！活動資金講座」というテーマで、小笠原秀樹氏（特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ専務理事）をお招きし実施しました。

講義

講義では、まず非営利組織の活動資金源に係る使途自由度、調達効率、事業への対価性についてお話をいただきました。

次に主な資金源として「①会費②寄付③事業収入④助成金、補助金⑤委託金、受託金⑥融資、私募債」についての紹介。特に「④助成金、補助金」については、助成情報の入手方法や申請の時期、申請する際の注意点についてさらに掘り下げてお話をいただきました。

団体としての「ミッション、目標、目的」がぶれないように資金を調達することが、成功の秘訣といえるようです。

申請する際のポイント

- ・助成（補助）を受けて行う活動が地域社会と関連しており、活動の展開によって地域への貢献がよりいっそう高まるものであるか
- ・助成（補助）がなくなっても、事業が継続できるか
- ・助成（補助）により、何がどのように変わり、将来的にどのような活動が展開されるのか。

講師紹介

小笠原 秀樹 氏（あおもりラジオくらぶ専務理事）

テレビ局勤務後、大学研究機関等に勤務。市民活動・コミュニティビジネス等のアドバイザー、コーディネーターとして活躍し、地域づくり、組織運営、事業構築等の講演やワークショップを多数実施している。2008年にNPO法人あおもりラジオくらぶを設立。専務理事として運営に携わるとともに、主にインターネットを活用した情報発信を通じて、人と組織の成長を支援している。



演習「模擬申請書づくり」

演習では、「模擬申請書づくり」として、事業名、事業目的、事業の必要性、事業内容等について、活動プランを想定して作成していき、最後は隣同士で作成したプランを紹介し、アドバイスをし合いました。

伝わる申請書を書くための5つのポイント

- ①募集要項と申請書を入手したら、まず精読する。添付する必要書類は早めに準備する。
- ②審査基準を確かめる。
- ③過去にどのようなものが採択されているか等の傾向を知る。
- ④記載項目を誠実に正確に簡潔に書く。自分たちが「伝えたいこと」よりも、相手が「知りたいこと」に留意する。文章の羅列よりも写真や図表を有効に使いながら簡潔に表現する。枚数、字数制限に注意する。
- ⑤自分たちで審査を試みる。

参加者の声

「お金だけではなく、事業への想いを伝えることがいかに大切であるか、また難しいことかを知りました。」
「高校生として、少し難しいことはあったけど他の人の意見も聞いて、いい経験になったし、これから若い世代として町を活性化していきたいと思いました。」
「自主財源ではまかなえない部分も多いので、このような知識も大変必要・重要だと思いました。」